

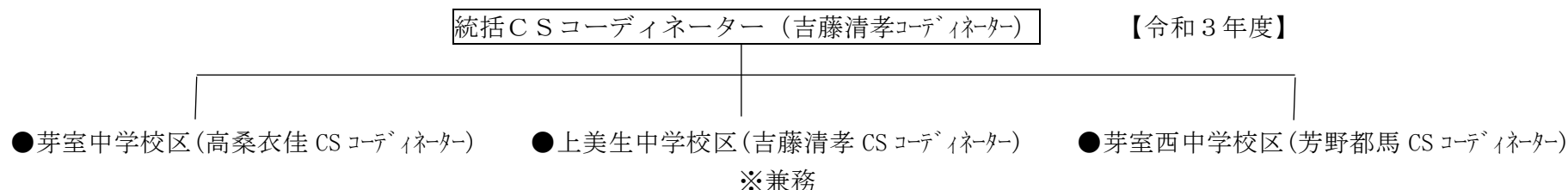
地域学校協働活動に係る取り組み状況と今後の取り組みについて

1. 地域学校協働活動とは

地域住民、保護者、NPO、民間企業や団体など幅広い地域住民の参画により、社会全体で未来を担う子どもの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校がパートナーとして連携・協働して行う活動。

芽室町は「地域学校協働活動」を実施するため、地域学校協働本部となる「めむろ郷育・夢育応援団本部」を設置。応援団本部は学校運営協議会委員や関係団体の代表者などで構成。

また、中学校区ごとに1名のCSコーディネーターを配置し、活動対象校の支援ニーズの把握や支援活動、地域住民と学校との連絡調整などの業務を担っている。



2. 令和2年度地域学校協働活動の取り組み

学校名	ボランティア回数	ボランティア参加人数	ボランティア実施時間	令和2年度に行った活動
芽室小学校	11回	42人	48時間	運動会・学年懇談・卒業式駐車場誘導、
上美生小学校	2回	13人	10.5時間	あいさつ運動、体力測定記録付け、
芽室西小学校	13回	36人	53時間	きらきらタイム（プリントの丸付け）、
芽室南小学校	5回	12人	23時間	書写授業補助、ミシン実習の見守り、
芽室中学校	4回	17人	20.5時間	学校図書の整理、壁飾り製作、
上美生中学校	2回	10人	7.5時間	花火打ち上げの際の交通整理支援、
芽室西中学校	13回	26人	37.5時間	スキー学習での見守り、
その他	1回	6人	6時間	学習発表会観客席の消毒作業、
合計	51回	162人	206時間	タブレット本体とケーブルの設置

3. 令和2年度CS通信の発行数 20号

4. 令和3年度の取り組みスケジュール

時期	活動予定内容
4月～	担当学校への訪問、教職員へのあいさつ、ボランティア活動の打ち合わせ（CSコーディネーター）
4月～	学校からの要望の調整、各事業へのボランティア・協力団体の派遣等
5月～	担当学校の学校運営協議会出席（CSコーディネーター）
6月24日	地域学校協働本部会議（めむろ郷育・夢育応援団本部会議）の開催
6月29日	学校支援ボランティア交流会の開催
随時	学校支援ボランティアの募集
随時	CS通信の発行
随時	地域学校協働活動の周知
3月	令和3年度の各学校地域学校協働活動の取り組みの取りまとめ

5. 地域学校協働活動にかかる予算

地域学校協働活動のボランティア等の謝礼 256千円 めむろ郷育・夢育応援団本部委員の謝礼 54千円

6. 推進体制

●コーディネーター

生涯学習推進アドバイザー、地域おこし協力隊、会計年度任用職員が1名ずつ各中学校区の小中学校を担当。各学校からの要望を聴取し、ボランティアで対応可能なものは、ボランティアと調整を図る。また、授業等を確認し、ボランティア側からこのようなお手伝いができるのではという提案を行う。

さらに地域・家庭・学校が共通の認識や課題を持つために、各学校の学校運営協議会に出席し、熟議を深める手助けを行う。

●ボランティア

現在の登録者は68名。登録につながる一番の効果は活動を行った人からの口コミであるため、引き続き学校からの要望に応じコーディネーターの調整により、ボランティア活動を実施していく。

ボランティア終了後に、アンケートを取り、今後の活動の参考とする。更なるボランティア活動の活性化に向け、学校支援ボランティア登録者同士の意見交換の場も設定していく。